

観 光 を 観 光

観 光 の す が た

観光には、「光を、観に行く」という意味があります。これは何か与えられたものを観に行くのではなく、自ら光を探しに行く旅です。それは予定調和でも、既存の美意識や価値観に彩られたものではなく、ざわざわしたり、もやもやしたり、時には危険であったり、恐ろしいものであるかもしれない。未知の世界と出会い、その中で、自分がどう振る舞い、時を過ごすのか。それによって、何か新しい扉が開きつかけになるのか、ならないのか。人生の答えはありませんが、「問い」は見つかるはず。そんな「観光」が、自分の生き方を自分で作っていかなければいけない時代の中で必要なのではないかと考えています。

作家、思想家・株式会社ゲンロン代表

東浩紀

福島県立博物館専門学芸員

川延安直

デザイン活動家

ナガオカケンメイ

観光家、コモンズ・デザイナー、社会実験者

陸奥賢

認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ代表

久保田翠

認定NPO法人クリエイティブサポートレッツは、2015年より観光事業を始めました。

その中で始めた「タイムトラベル100時間ツアー」は、重度の知的障害者の施設に1日以上滞在し、障害のある人たちの触れ合いを通して、多様性、ダイバーシティを考えるツアーです。

障害ばかりではなく、見たことがないもの、触れてはいけないもの、触れる機会がなかったこと……。そうしたことを、観光という事業に置き換えてみてみると、どんな世界がみえてくるのか……。

そんな「観光」の可能性について、みなさんと議論をしていきたいと思えます。

2018年3月11日(日)

13:30-18:00

木下恵介記念館にて

登壇者プロフィール

東浩紀(あずま・ひろき)



1971年東京生まれ。作家、思想家。株式会社ゲンロン代表。同社発行『ゲンロン』編集長。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。専門は現代思想、表象文化論、情報社会論。著書に『存在論的、郵便的』(新潮社、第21回サントリー学芸賞)、『動物化するポストモダン』(講談社現代新書)、『クオタム・ファミリーズ』(新潮社、第23回三島由紀夫賞)、『一般意志2.0』(講談社)、『弱いつながり』(幻冬舎)など多数。2017年刊行の『ゲンロン0 観光客の哲学』(ゲンロン)で第71回毎日出版文化賞(人文・社会部門)を受賞。

川延安直(かわのべ・やすなお)



神奈川県藤沢市生まれ。筑波大学大学院芸術学研究科修了。岡山県立美術館学芸員を経て、福島県立博物館学芸員。担当分野は福島県ゆかりの近世絵画。

主な担当展覧会「古い・古いをめぐるとカタチ」(平成17年)、「岡本太郎の博物館・はるめる視点〜博物館から覚醒するアーティストたち〜」(平成21年など)携わった主なアートプロジェクト「会津・漆の芸術祭2010・2011・2012」、「週末アートスクール」、「森のはこ舟アートプロジェクト」、「はま・なか・あいつ文化連携プロジェクト」、「いいいてミュージアム」など

ナガオカケンメイ(ながおか・けんめい)



1965年北海道室蘭生まれ。'90年、日本デザインセンター入社。原デザイン研究所設立に参加。2000年、東京世田谷に、ロングライフデザインをテーマとしたストア「D&DEPARTMENT」を開始。'09年より旅行文化誌「d design travel」を刊行。日本初の47都道府県をテーマとしたデザインミュージアム「d47museum」ディレクター。'13年毎日デザイン賞受賞。武蔵野美術大学客員教授。京都造形芸術大学教授。

陸奥賢(むつ・さとし)



観光家/コモンズ・デザイナー/社会実践者。1978年大阪生まれ。2007年に堺のコミュニティツーリズム企画で地域活性化ビジネスプラン「SAKAI賞」(主催 堺市商工会議所)を受賞。2008年10月から2013年1月までは「大阪あそび」(2012年 観光庁長官表彰)プロデューサーとして活動。「大阪七墓巡り復活プロジェクト」「まわしよみ新聞」(2017年 読売教育賞NIE部門最優秀賞受賞)「直観読みブックマーク」「当事者研究スゴロク」「大阪モダン寺巡礼」「歌垣風呂」(2017年 京都・文化ベンチャーコンペティション企業賞とらや賞受賞)「劇札」「仏笑い」「関西顔ハメ看板普及委員会」などを手掛ける。應典院寺町倶楽部執行部役員(世話人)。著書に「まわしよみ新聞のすゝめ」。

スケジュール

13:30-14:00 挨拶、レッツ観光事業のプロモーションPV放映

14:00-14:45 事例発表

①タイムトラベル100時間ツアー

(クリエイティブサポートレッツ)

②d design travel (D&DEPARTMENT)

③いいいてミュージアム

(はま・なか・あいつ連携プロジェクト)

15:00-18:00 シンポジウム

東浩紀、川延安直、ナガオカケンメイ、陸奥賢、久保田翠

会場

木下恵介記念館(静岡県浜松市中区栄町3番地の1)

・浜松駅より徒歩約15分

・浜松駅バスターミナル3番のりば発バス約7分→

「鴨江アートセンター」バス停下車すぐ



3月3日(土)-17日(土) 「レッツ観光局」開催

レッツが考えている「観光」とは何か、これまでに行った事業の紹介、アルス・ノヴァの日常を切り取った動画などでご紹介します。期間中、トークイベント、アルス・ノヴァに滞在するツアー、まちを観光するツアーなども開催します。詳しくはレッツHP(<http://cslets.net/>)をご覧ください。

お問合せ

認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ

〒432-8061 静岡県浜松市西区入野町 8923 - 4

電話：053-440-3176 / ファックス：053-440-3175

メール：lets-arsnova@nifty.com

ホームページ：<http://cslets.net/>

Facebook:

<https://www.facebook.com/takebunn/> (たけし文化センター)

<https://www.facebook.com/letsarsnova/> (アルス・ノヴァ)

【レッツ観光局】<http://100htour.net>

認定NPO法人クリエイティブサポートレッツについて

社会の「あたりまえ」なんておかないしに、「あるがまま」でいることを貫き通す、重度の知的障害者「たけし」との違いが「クリエイティブサポートレッツ」の始まりです。彼にない「あたりまえ」を気にするのを少しやめたら、障害・国籍・性差・年齢などのちがいを越え、「あなた」と「わたし」の「関係」が見えてきました。できるだけ多くの人が「あるがまま」について、お互いがちょっと刺激しあいながら、心地よくセッションしていく場。レッツは、社会にそんな場所が増えていくことを目指しています。

「タイムトラベル100時間ツアー」について

レッツが運営する障害福祉サービス事業所アルス・ノヴァでは、それぞれの「あるがまま」を認め、尊重しあいながら、日々、様々な人が共に過ごしています。そのため、アルス・ノヴァにいて、社会の中では当たり前なことでも一々疑い、考えさせられることとなります。そして、それが面白いのです。この面白さを体感してもらうには、まとまった時間浸ってもらう必要があります。その目安が、100時間。ガイドンス付きツアーに参加したり、遊びに来たりして合計100時間の滞在を目指します。「人生の答え」はありませんが、「問い」は見つかるツアーです。

3月10日(土)-11日(日) タイムトラベル100時間ツアーvol.13 観光サミットスペシャル▶観光サミットの開催に合わせて「タイムトラベル100時間ツアー」を行います。なぜレッツは観光をやっているのか、サミットで語られる観光とは？それらを事前に体験できるツアーです。ツアー参加者特典として、立ち見必至の「観光サミット」ではスペシャルシートをご用意します。新しい観光の形を身体で感じる二日間を保証します。完全申込制。定員10名。お申し込みは100htour.net または、lets-arsnova@nifty.comまで！



静岡県文化プログラム

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向け、オリンピック憲章で開催が定められた「文化プログラム」が、日本全国で展開されます。静岡県文化プログラム推進委員会は、文化・芸術振興や文化・芸術による地域・社会課題対応を目指して、様々な団体等との協働による取組を進めています。